

(5) 既往調査による交通実態

市民の交通に対する意識

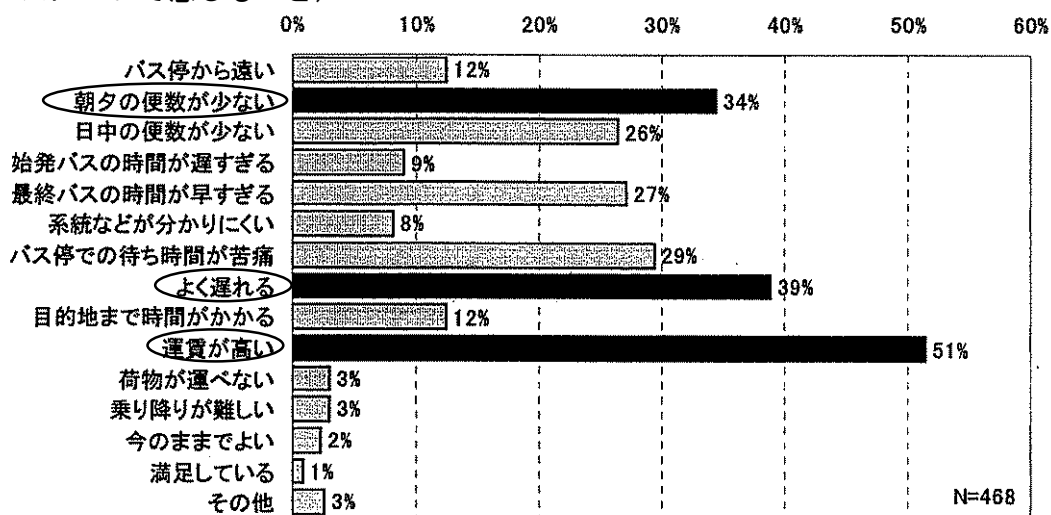
- ・名鉄美濃町線廃止後に運行されている代替バスに対して、利用者は「運賃が高い」、「遅れる」、「便数が少ない」といった不便さを感じている。
- ・関市民の多くは公共交通機関が不便であると感じており、名鉄美濃町線廃止後は公共交通機関の不便さがさらに高くなったと考えられる。

(鉄道と代替バスの運賃比較：新関～岐阜間)

	普通運賃	通勤定期 (1ヶ月)	学生定期 (1ヶ月)
鉄道	560 円	21,460 円	9,720 円
バス	650 円	29,820 円	22,630 円
差額	+90 円	+8,360 円	+12,910 円

バス運賃が鉄道に比べて大幅に高くなり、特に通学利用者への負担が大きくなった。

(バスについて感じること)

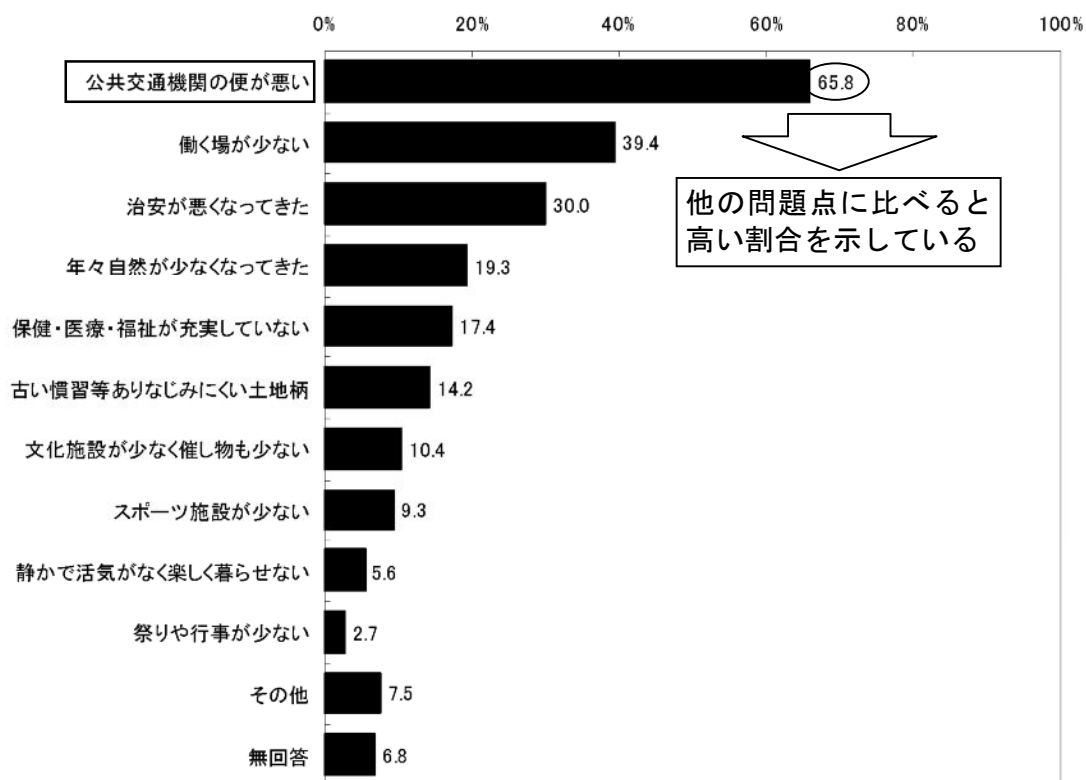


代替バスの利用者は「高い」「遅い」「少ない」といった不便さを感じている

出典：揖斐線・美濃町線・岐阜市内線等の廃止に伴う代替バス交通に関するアンケート調査(平成17年11月)

図1-10 市民の交通に対する意識(鉄道・バス)

(関市の問題点)



出典：関まちづくり市民アンケート調査結果  
(平成17年8月実施)

図1-1-1 市民の交通に対する意識（関市の問題点）

## 名鉄美濃町線廃止前後の交通量

- ・ 自動車交通量は廃止前に比べて、2,400台／12h増加している。
- ・ 公共交通機関の利用者は廃止前に比べて、約1,100人／日減少している
- ・ 名鉄美濃町線廃止により、公共交通機関の利用者が減少し、自動車交通への転換が進んだと考えられる。

(名鉄美濃町線廃止前後の交通量：関市と岐阜市の市境断面)



### ■自動車交通量の変化：台／12h

路線名(区間番号)	廃止前(H11)	廃止後(H17)	後-前	後/前
県道上白金真砂線(6067)	4,220	5,855	1,635	1.387
一般国道156号(1079)	14,589	15,372	783	1.054
計	18,809	21,227	<b>2,418</b>	1.131
[参考]東海北陸自動車道(11)	17,713	12,127	-5,586	0.685

注) 東海北陸自動車道は東海環状自動車道(H17.3開通)の影響があると考えられるため合計値より除いた

### ■公共交通機関利用者

	美濃町線(H12)	代替バス(H17)	後-前	後/前
断面通過人員	2,609	1,461	<b>-1,148</b>	0.560

資料：自動車交通量：道路交通センサス

名鉄美濃町線：大都市交通センサス（白金駅～上芥見駅の駅間断面通過人員）

代替バスの利用者：

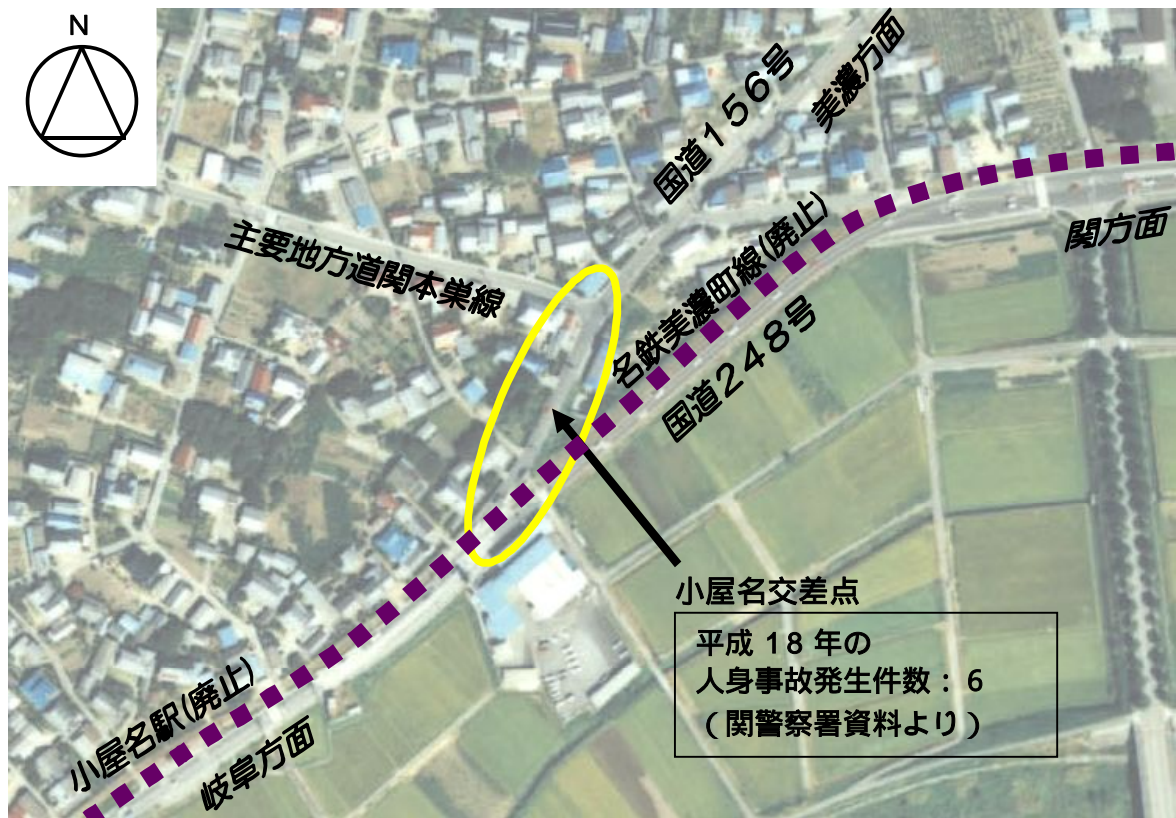
「岐阜地域公共交通等調査検討協議会」の鉄道からバスへの想定転換率56%による

図1-12 名鉄美濃町線廃止前後の交通量

## 名鉄美濃町線沿線の計画

- ・ 国道 156 号と国道 248 号が平面交差する小屋名交差点は複雑な形状であり、名鉄美濃町線運行時は、踏切遮断による車両通行への影響を大きく受けていた。
- ・ 慢性的な渋滞が発生し、事故発生件数も多いことから、交差点改良の整備が進められている。

小屋名交差点付近の状況



小屋名交差点の整備計画（名鉄美濃町線運行当時の計画）

**156 おやな 小屋名改良**

国道156号、248号、県道の交差点部を整備

**目的**

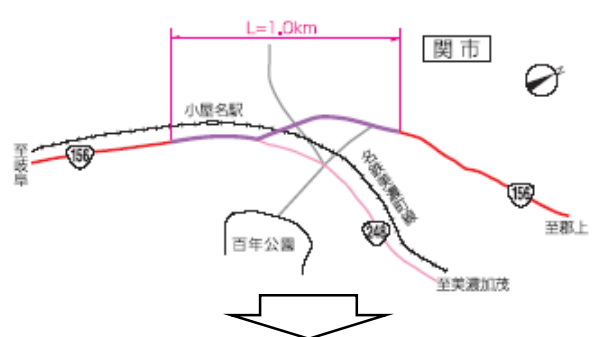
- ① 快適な道路空間の整備
- ② 円滑な交通の確保

**今年度の事業内容**

◆ 事業形態についての検討

● 区 間：関市小屋名  
● 延 長：L=1.0km  
● 規 格：3種1級  
● 設計速度：80km  
● 事業化：昭和49年度  
● 用地着手：平成4年度

● 小屋名改良  
(岐阜市から関市方面をのぞむ)



名鉄美濃町線が廃止された後の交差点整備計画は明確になっていないが、交差点形状によっては、鉄道敷の跡地利用に影響する

出典：岐阜国道事務所HP

図 1 - 1 3 名鉄美濃町線沿線の計画